



校長の目 ～西小日々通信～

令和4年9月26日（月）



シルバーウィークは台風続きでした。荒れた天候もようやく一息ついて、今日は朝から清々しい秋晴れになりました。今日の業前活動は、読書です。低学年は読み聞かせで保護者の皆様にお世話になっております。読み聞かせは、子供が本好きになる入口です。みんな絵本を食い入るように見つめて、お話を聞いていました。読書月間まではもう少し先ですが、自分の好きな一冊を見つけられるといいですね。



4年生の総合的な学習の時間では、ふじみ野国際交流センター（F I S E C）からゲストティーチャーをお招きしました。これは、本校が県教委から委嘱されている「外国人親子への支援と地域住民とのつながりづくり」の実践の一つです。3名の外国籍の方々から、それぞれの国の文化や生活の様子、日本でがんばっている外国籍の子供たちについて教えていただきました。また、日本語が話せない外国籍の子供たちに日本語を教えてあげてほしいという願いもありました。みんな真剣に、そして楽しく授業を受けることができました。ゲストティーチャーの皆さんからは、本校の子供たちがとても明るく、そして好奇心があって、よく発言していたことに感激しておられました。F I S E Cの皆さん、本日は大変ありがとうございました。また、授業の様子を見てくださった県生涯学習課並びにふじみ野市教育委員会の先生方には、お忙しいところご来校くださり感謝申し上げます。



1年生の教室からは毎日鍵盤ハーモニカの音が聞こえてきます。校内音楽会の練習です。感染予防対策のシールドを机に設置してから、練習開始です。楽譜を見ながら、一生懸命練習しています。先週くらいまでは、音を聞いても何の曲なのかわからないほどでしたが、だんだん上手になってきています。子供たちの吸収力と成長のスピードは、本当に目覚ましいものがあります。

